

2019 年 6 月 13 日

2019 年 5 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は改元関連の仕事は動かなかった。学参関連の一部に動きが見られたものの、全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

（前年比 90.3%）

巻取は株主総会関連、生保関連、住宅関連チラシが堅調に推移して前年並みの動きであった。

（前年比 99.8%）

再生紙平判は在庫不足、価格の上昇もあり敬遠気味な状況が見られ前年を大幅に下回った。

巻取も平判同様で動きが見られず、一部バージン品に変更する物件も見られ前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 73.9% 再生上質巻取 57.2% 再生上質計 67.7%）

（前年比 印刷用紙 A 92.5%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、株主総会関連、百貨店、医療関連等で動きがあったものの、全体的な仕事量の減少によりグロス紙、マット紙、再生紙とも前年を下回った。

巻取は金融、生損保、株主総会関連等で動きがあったものの、品薄の影響もあり前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 91.2% 巻取 85.3% 全体 89.9%）

<A3 コート>

株主総会関連、学習塾、量販店向けチラシ等で動きがあったものの、巻取品の品薄の影響から新規案件及び部数の減少等により平判、巻取とも前年を下回った。

（前年比 平判 96.7% 巻取 88.1% 全体 91.1%）

<ノーカーボン紙>

生損保関連の細かい動きもあり平判は前年並に取り込めたが、連休の影響で前倒しに動いた為巻取は前年を下回った。

（前年比 平判 100.6% 巻取 92.0%）

<上質フォーム>

議決権向けの案件、プレミアム商品券の申請書等のスポット案件の動きはあったが、全体的な動きが弱く供給不足の影響もあり前年を下回った。

（前年比 91.1%）

<包装用紙>

特殊両更は官公庁向け封筒、業界団体向け封筒で僅かに動きがあったものの、全般的には動きが低調で昨年を大幅に下回った。

(前年比 60.5%)

軽包装は生花店向け包装紙の需要が伸び昨年来上回った。

(前年比 104.6%)

片艶晒は金融会社向けの封筒、医療キャンペーン向け封筒でやや動きがあったものの、低調な動きを脱せず昨年を大きく下回った。

(前年比 89.4%)

両更晒は大手外食チェーン店向け封筒、通信会社向け封筒、旅行会社向け封筒に一部動きがあったものの、全体的に低調な動きで昨年を大きく下回った。

(前年比 89.3%)

包装紙合計でも昨年を大きく下回った。

(前年比 87.8%)

<板紙>

大型連休の前倒し需要の反動で都市部などは低調であったが、POP 関係や食品、日用品は堅調であった。化粧品等はインバウンドも一服感が見られ全体的には前年を下回った。

(前年比 97.8%)